

守谷ボランティア NEWS

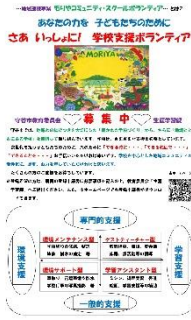
2022年4月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ 2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

もりやコミュニティ・スクールボランティア

守谷市では、地域との結びつきを大切にした「地域とともにある学校」を目指して、様々な取り組みを行っています。
学校は、いま、さまざまな支援を必要としています。
次世代を担う子どもたちのために「できる時に」「できる範囲で」「できることを」お手伝いいただけるかたを募集しています。
学校を中心とした地域コミュニティの活性化に、あなたのお力を貸してください。ご登録をお待ちしています。
※詳しくは市ホームページをご覧ください



市ホームページ

公園の藤棚の花が開花します ～ボランティアさん募集中～

今年も、藤の花の咲く季節がやって来ました。我々が管理しているのは、大山公園、守谷沼、くわがた公園とけやき台公園です。



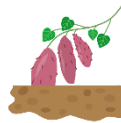
ぜひ藤の花の開花を見に足を運んでみてください。

※一緒に花の手入れをしてくれる方も募集しています!

- 日時 4月下旬～5月上旬
- 会場 守谷沼、大山公園 くわがた公園、けやき台公園、こじゅけい公園
- 活動日 土曜日 (月2回程度) 初回 4月16日 (土)
- 問合先 もりや・みどりの会
鬼形 ☎080-3450-8949

小学生募集 自然体験教室 ジャガイモ掘りとサツマイモの育成・収穫をしよう!

- 場所 大柏地内
- 参加費 無料
- 応募資格 ・守谷市内に在住または通学の小学生
・保護者の送迎が可能であること・作業に参加できること
- 定員 24家族 ※定員を越える場合は、抽選させていただきます。



- 申込期間 4月18日(月)～24日(日)
- 申込・問合先 宮島 ☎090-5532-8878
宮本 ☎090-5513-4860
- 主催 守谷稲門会 (早稲田大学の卒業生の会)
- 後援 市教育委員会

登録団体活動情報 4月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	間宮 45-3066
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第4(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター
守谷おりがみクラブ おりがみ教室	守谷市民活動支援センター	第2(土) 13:30～15:30	川名 090-7242-4888

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

社会教育	～4/15 令和4年度「助成」 公益財団法人 カメイ社会教育振興財団 https://kameimuseum.or.jp/foundation/foundation-application/
環境・社会教育	～4/30 地域活動団体への助成「生活学校助成」 公益財団法人あしたの日本を創る協会 http://www.ashita.or.jp/
環境	～5/11 緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業 公益財団法人高原環境財団 https://takahara-env.or.jp/

編集後記



桜が満開の季節となりました。ソメイヨシノは江戸時代末期にオシマザクラとエドヒガンの2種類の桜を交配させて生まれました。明治時代以降ソメイヨシノは、接ぎ木によって全国に植えられました。接ぎ木とは同じ遺伝子を持つ個体を複製すること。つまりクローンを作ることです。ソメイヨシノはクローン繁殖という形で日本中に増えていきました。桜の花が下向きに咲くのは、一房につぼみが3、4個つき、それぞれが触れ合わないよう花と枝の間に長い柄があるためだそうです。桜の下でお花見したい理由がわかりましたね。



こんにちは！守谷のボランティアさん



今年も河津桜セレモニーへ行ってきました！2022/3/12(土) 城址公園

桜の花のたよりが聞かれる頃になりました。

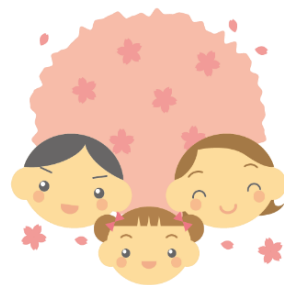
とても爽やかで心地いい日、親子づれ、ご夫婦、おじいちゃんおばあちゃんとお孫さん、また犬も一緒に続々と集って来られました。

飯嶋さんの明るい声でセレモニーが始まり、会長の裕元さんより「自分は枯れていくけど、桜は育っていく(笑)」とつかみはOKのご挨拶！
続いて松丸市長、来賓の方の挨拶がありました。



ナイス司会の飯嶋さん

お孫さんと草刈りをしている壮年の方がいました。その方は「花見が好きで、自分たちの桜があったらいいな、素敵だと思い応募しました。」と、楽しそうに桜の手入れをされていました。



セレモニーが終わり各自桜の木へレッツゴー！

おじいちゃんが植えた河津桜のお手伝いをするため、朝早くから東京から駆けつけ、昼には帰らなくてはいけないと、忙しい中来てくれたお孫さん。おじいちゃん孝行ですね。

手入れの仕方も様々で、年に何回か鶏糞を蒔いている池田さん。やりすぎは禁物ですが、花の色が濃くなるそうです。楽しみですね！

取材をしていくと仲睦まじいご夫婦にお会いしました。

3年前に里親になったご夫婦は、息子夫婦・孫の6人で暮らしているそうです。「じいじ、ばあばが亡くなった後、成長した河津桜を見て、自分たちのために植えてくれたんだなあーと、思い出して家族仲良く暮らして欲しい」との思いで毎年手入れに来られているそうです。



会長の裕元さんにインタビュー

2017年2月第1期里親の植樹をしてから丸5年が経ち、今年やっと161本すべての河津桜が咲きました。

第1期里親を募集するまでに、河津桜の現地（静岡県賀茂郡河津町）を視察しに行ったり、試験植樹をしたり、皆さんに喜んでいただけるよう一生懸命に取り組んできました。

今では、自身の健康のために毎日城址公園まで散歩し、桜の様子を見に行っています。1本1本桜の木をチェックして、ひこばえを切ったり草取りをしているそうです。皆さんが桜を見てきれいだなあ、大きくなったなあと思っただけで嬉しく、毎年春が楽しみです。

「日本人の心は桜にある」、との思いでこれからも河津桜を見守っていきたいと思います。

<取材：守谷市民活動支援センター>